

第7章 その他

(1) 計画の公表及び周知

本計画は、広報誌等により周知し、本市ホームページで公表し、また各区役所情報公開コーナーに配置し、広く市民の閲覧に供します。

(2) 特定健康診査等実施計画の評価及び見直し

① 評価

目標に掲げている特定健康診査と特定保健指導実施率の向上、特定保健指導該当者の減少における達成状況等の確認を行っていきます。

本計画で設定した目標の達成状況について、毎年度評価を行い、第3期実施計画期間の中間年である平成32年度（2020年度）に、第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）と併せ、事業の実施状況等を含めた中間評価を行い、第3期実施計画最終年に総合的な評価を行います。

② 見直し

本計画をより実効性の高いものとするためには、計画内容を実態に即したより効果的なものに見直す必要があります。実施体制、周知方法、委託業者の選定方法、保健指導方法や生活習慣の改善状況など短期間で評価ができる事項について、庁内各課と連携した検討体制で評価し、必要に応じて計画の見直しを進めてまいります。

なお、保険運営の健全化の観点から、さいたま市国民健康保険運営協議会に毎年進捗状況を報告し、必要に応じて修正を行います。

(3) 事業運営上の留意事項

本計画の各事業の目標を達成するため、各事業を担当する関係部署、関係団体と連携を図り、それぞれが持つ課題を共有し各事業を運営していきます。

事業担当者は、常に最新の情報を収集するとともに研修等への参加により事業の質の向上を図ります。

用語解説	
【あ】	
悪性新生物	悪性腫瘍のことです。細胞が何らかの原因で変異して増殖を続け、周囲の正常な組織を破壊する腫瘍です。がんや肉腫などがこれに入ります。主な疾患としては、胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、悪性リンパ腫、白血病などがあります。
医科	医科とは、内科・外科・小児科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・放射線科などの総称のことです。
医療保険者	医療保険事業を運営するために保険料（税）を徴収したり、保険給付を行う実施団体のことです。国民健康保険の場合は市町村又は各国保組合となります。
インセンティブ	人の意欲を引き出すために、外部から与える刺激のことをいいます。
HDL コレステロール	余分なコレステロールを全身の組織から肝臓へ回収する働きがあり、「善玉コレステロール」と呼ばれます。
【か】	
虚血性心疾患	心臓を動かす筋肉（心筋）に栄養分や酸素を運ぶ冠動脈が動脈硬化などで狭くなったり閉塞したりすることで、心筋に必要な酸素や栄養がいきわたりにくくなる病気で、狭心症と心筋梗塞などが代表的な疾患です。
行動変容ステージ	「無関心期」→「関心期」→「準備期」→「実行期」→「維持期」の5つのステージのことをいい、人が行動を変える場合はこの5つのステージを通ると考えます。 行動変容のステージをひとつでも先に進むには、その人が今どのステージにいるかを把握し、それぞれのステージに合わせた働きかけが必要になります。
国民健康保険運営協議会	国民健康保険の事業の運営に関する重要事項を審議するため、国民健康保険法第11条に基づいて設置される諮問機関です。

国民健康保険団体連合会	国民健康保険法に基づき、国保の保険者が共同して目的を達成するため、都道府県知事の認可を受け、保険者により設立された法人です。現在、国民健康保険団体連合会は、各都道府県に一団体ずつ設立されています。
【さ】	
さいたま市ヘルスプラン 21(第2次)	市民一人ひとりが生涯を通じて健やかで生き生きとした生活を営むことができることを目的とし、市民、民間団体、関係機関、事業者、行政などが互いに協力し、それぞれの役割を果たしながら、健康づくりに関する施策を総合的かつ計画的に推進するための指針として策定したものです。ヘルスプラン 21(第2次)の期間は、平成 25 年度(2013 年度)から平成 34 年度(2022 年度)の 10 年間です。
3か月後評価	設定した個人の行動目標が達成されているか、身体状況や生活習慣に変化が見られたかについて行う評価です。
脂質異常症	血液中のHDLコレステロールやLDLコレステロール、中性脂肪の数値が異常な状態を「脂質異常症」といいます。脂質異常症を放っておくと、血管の動脈硬化が少しずつ進んでいき、やがて心筋梗塞や脳卒中などの深刻な病気が引き起こされることとなります。
実施報告書	動機付け支援を実施する上で、行動目標、行動計画、3か月後評価を管理するための報告書のことをいいます。
腎不全	腎臓は、体内で産出された老廃物や水分を尿という形で体外に排泄する臓器です。腎不全とは、腎機能が低下した状態のことをいいます。慢性腎不全が進行すると、人工透析や腎移植が必要になる場合があります。
COPD	慢性閉塞性肺疾患ともいい、たばこの煙など毒素の吸入により免疫反応が続いた結果、破壊された組織と増えたたんなどによる気道閉鎖が起こりやすい状態のことをいいます。

積極的支援	特定保健指導において、生活習慣改善の必要性が高い方が、定期的・継続的な支援により、自らの生活習慣を振り返り、行動目標を設定し、目標達成に向けた実践(行動)に取り組みます。支援プログラム終了後には、その生活が継続することを目指します。
【た】	
地域包括ケア(システム)	高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるようにするための、地域の包括的な支援・サービス提供体制です。
データヘルス計画(保健事業実施計画)	全ての医療保険者が作成する、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画です。
動機付け支援	特定保健指導において生活習慣改善の自主的な取組のため、健診医と行動目標を立て、3か月後に達成状況を確認します。
特定保健指導	特定健康診査等の結果にもとづき、生活習慣病の危険因子の数に応じて、個々の生活習慣の改善に主眼をおいた保健指導です。生活習慣病の危険因子の数に応じて、「情報提供」「動機づけ支援」「積極的支援」に分類されます。
【な】	
内臓脂肪型肥満	お腹の内臓まわりに脂肪が蓄積した肥満のタイプで、脂肪面積が 100 cm ² 以上と定義されています。
【は】	
BMI	ボディ・マス・インデックス(Body Mass Index)の略で、「体重(kg)÷身長(m) ² 」で算出される体格指数のことで、肥満の判定に用いられ、18.5未満は「やせ」、18.5~25未満は「普通」、25以上は「肥満」と判定します。

HbA1c (ヘモグロビン A1c)	赤血球の中にあるヘモグロビンと糖が結合したもので、過去1～2カ月の平均的血糖値を反映しているため、糖尿病の管理指標として用いられます。
保健指導判定値	特定保健指導（「情報提供」「動機付け支援」「積極的支援」）を実施する上で、支援レベルの階層化をするために国が定めた基準値のことです。
ポピュレーションアプローチ	対象を一部に限定することなく、集団全体へアプローチしていく方法をいいます。
【ま】	
メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に加え、高血糖・高血圧・脂質異常のうちいずれか2つ以上をあわせもった状態のことです。
モテ ^{たい} 体改造計画	市内の運動施設を利用して行っている、本市の積極的支援運動指導等事業の名称です。
【ら】	
レセプト	正式には、診療報酬明細書といい、患者が受けた診療について、医療機関が保険者に請求する明細書のことをいいます。患者・入院外来ごとに毎月1枚作成し、疾病名や請求内容の内訳が記載されています。本計画では、埼玉県国民健康保険団体連合会が診療報酬明細書の情報をもとにデータ化し、さいたま市に提供されたデータを「レセプトデータ」と呼んでいます。